

# ホンダ太陽株式会社/ホンダR&D太陽株式会社

所在地 大分県日出町

雇用障害者 肢体不自由者/聴覚障害者/内部障害者/知的障害者/精神障害者



## ユニバーサル化の展開、 重度化や加齢に対応した治具の製作

### 事業所の概要

ホンダ太陽株式会社（以下、「ホンダ太陽」）は、本田技研工業株式会社の特例子会社。本田技研工業株式会社の創業者が障害者の自立と自己成長を掲げ、1981年に社会福祉法人太陽の家、日本精機株式会社と合併で設立しました。同じく特例子会社であるホンダR&D太陽株式会社（以下、「ホンダR&D太陽」）は、株式会社本田技術研究所が重度障害者のさらなる雇用拡大を目的に、1992年に本田技研工業株式会社と社会福祉法人太陽の家と合併で設立。ホンダ太陽の日出工場とホンダR&D太陽は同じ敷地内にあり、社員数は合わせて約170名。部品製造、研究開発等を手がけ、両社ともに本田技研工業株式会社の製造の一翼を担っています。

障害者雇用に関しては、ハローワークのほか、障害者職業能力開発校や特別支援学校と連携。身体障害者の雇用が中心となっていますが、ホンダ太陽については、2年ほど前より、知的障害者等の雇用にも取り組み始めています。



ホンダ太陽 日出工場長の原田浩二さん



ホンダR&D太陽 業務管理部課長の三代川政幸さん

### 障害者雇用の取り組み

#### 社内への啓発（※親会社を含む）

親会社である本田技研工業株式会社や株式会社本田

技術研究所、そのほかグループ会社に対する啓発として、各社の人事や設備改善の担当者に来社してもらい、社内見学や説明等を行う機会を頻繁に設けています。

### 職務の開発や調整

配属に当たっては、既存の職務の中で、その人に合った職務にまずはトライしてもらおうという方針をとっています。その中で、OJT教育により能力向上を図ったり、また障害状況や加齢により対応が難しい場合は、治具を製作してできないことをカバーする、あるいはできる範囲の職務内容に調整する等の配慮を行っています。

### 支援機関・支援制度の活用

雇用に当たって、前述したとおり、ハローワークを始めとした各機関と連携し、人材の確保に努めています。

また、知的障害者と精神障害者の雇用に当たっては、地域障害者職業センターのジョブコーチ支援を利用。ジョブコーチが事業所と障害者の双方と相談し調整を行うことで、スムーズに職場に適應する一因となっています。

さらに、設備の改善等について、各種助成金を活用しています。

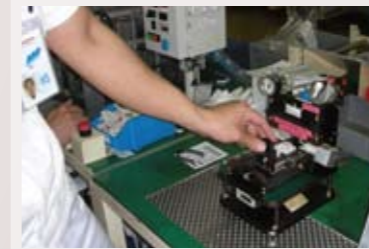
### 雇用管理上の配慮・工夫

社屋を含め、設備全体にユニバーサル化を展開しています。

また、障害状況等によって、指先の巧緻性を要する仕事や、両手で行う仕事等に対応することが難しい場合、治具を製作して用いることにより、仕事への対応を可能にしています。

設備改善や治具製作については、以前はいくつかの部署に分かれて取り組んでいましたが、2008年10月、日出工場内の管理本部/施設・設備管理部に一本化しました。管

理本部/施設・設備管理部においては、特許を取るような大がかりな装置の製作から、社内で普段利用している部品等を用いて作る簡単な治具の製作まで、様々な取り組みを行っています。製作に当たっては、各現場の責任者から個別に問題をあげてもらい、障害者本人の意見も聞きながら、試行錯誤しながら改善を図っています。



両手で行う仕事を片手で行うことを可能とする治具



ユニバーサル化された工場内

### 雇用事例

#### Case1: 佐矢野利明さん

20代前半、勤続約2年の佐矢野さん。特別支援学校を卒業後、障害者職業能力開発校（国立吉備高原職業リハビリテーションセンター）において1年間機械製図の訓練を実施後、入社。ホンダR&D太陽にて、CAD業務を行っています。OJTにより、順調に技能を取得しています。

佐矢野さんは、肢体不自由で車椅子を使用。車椅子マラソンの選手でもあり、2009年秋には、2ヵ月間限定で、競

### 職場インタビュー

ホンダ太陽株式会社  
管理本部事業管理部総務課課長 都築憲幸さん

OJT教育、OJC教育（On The Chance Training=チャンスを活かして、まずはトライしてもらおう。）、状況に応じた設備改善や治具製作等の取り組みにより、既存の職務に一人ひとりが最大限の力を発揮できることを基本に考えています。今後は、身体障害以外の障害のある人についても活躍の場を広げていきたいと考えています。



#### 西内匡甫さん(知的障害)

ここの職場は、周りの人達がとても親切に教えてくれるので好きです。仕事をするうえで、不良品を絶対に出荷しないよう、品質に気をつけています。ひとつでも多く生産できるよう、これからも頑張ります。



技用車椅子の調整業務にも携わりました。

#### Case2: 西内匡甫さん

20代半ば、勤続約1年の西内さん。社会福祉法人太陽の家に約6年間通所後、入社。ホンダ太陽日出工場にて、部品の梱包を行っています。

西内さんは、軽度の知的障害。新たな仕事を教える際にはわかりやすい表現で丁寧に説明する、何度も指示を繰り返す等の配慮を行っています。現在、仕事の処理スピードが非常に速く、戦力となって活躍しています。



西内さん(左)と、同じ部署で働く課長の布施晃弘さん

#### Case3: 福田洋子さん

20代半ば、勤続約10ヵ月の福田さん。社会福祉法人太陽の家に約1ヵ月間通所後、入社（ジョブコーチ支援を利用）。

ホンダ太陽日出工場にて、パソコン業務（名刺作成等）を行っています。パソコンを仕事として使うのは初めてですが、OJTにより順調に仕事をこなしています。

福田さんは、精神障害で、定期的な通院・服薬をしています。周りの人と雑談を行う等の対人関係は得意ではなく、普段は周りの人も無理に係わるようなことはしていませんが、上司に誘われて野球部のマネージャーも務める等、徐々に人間関係に広がりがみられています。

#### 佐矢野利明さん(肢体不自由)

CADを使って図面を作成するうえでやり方に悩むことも多いですが、終わった後には達成感があり、やりがいを感じています。

今は会社に隣接する社宅に入っていますが、近いうちにアパートを借りて自立したいという目標もあります。



#### 福田洋子さん(精神障害)

仕事の中心は名刺の作成ですが、ときどき図面への所有権表示やレーザー刻印等の仕事も手伝っています。まだ慣れない仕事もありますが、今後も引き続き頑張っていきたいと思っています。

